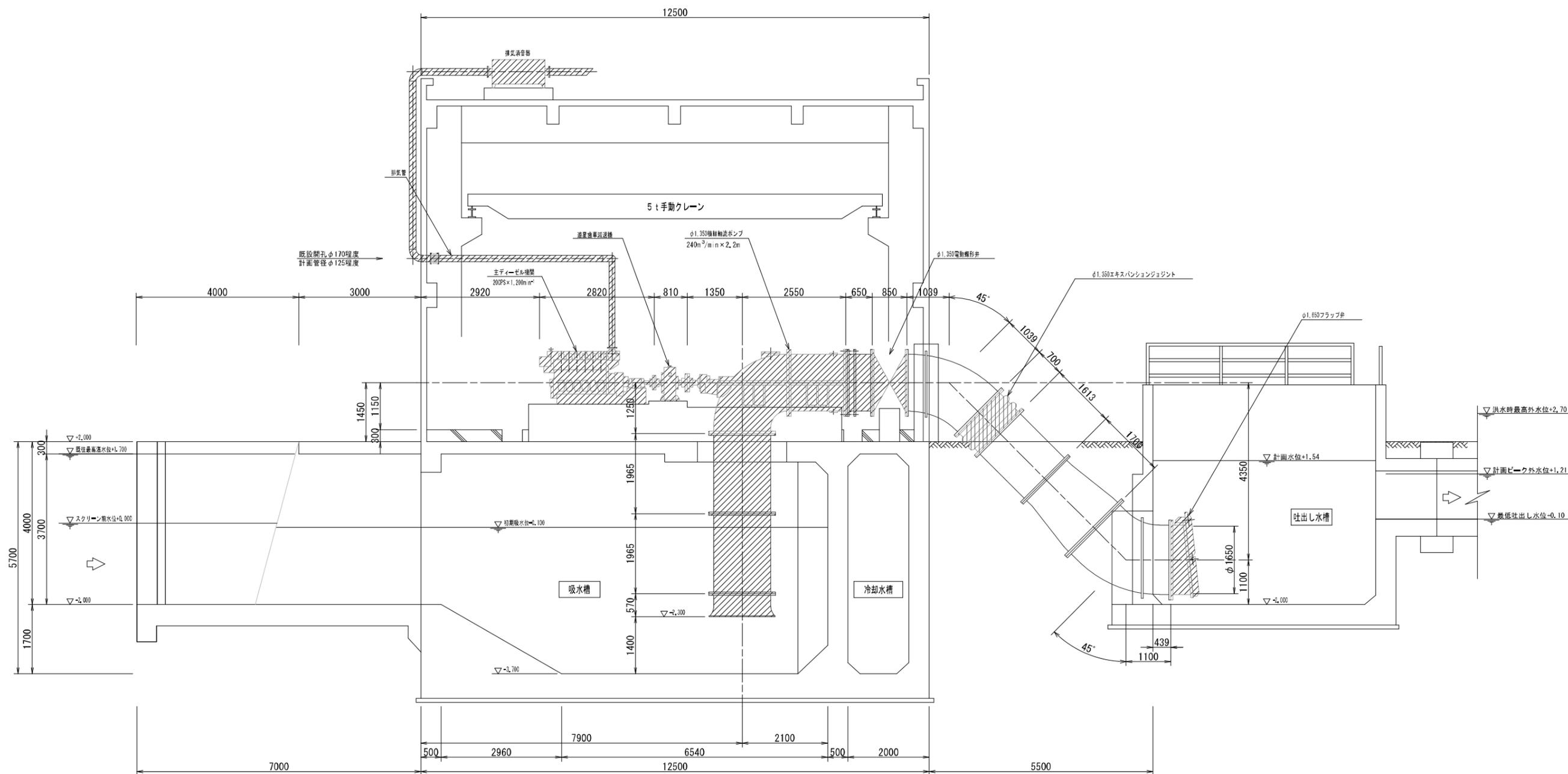


農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区

機器撤去断面図 S=1:50

(参考図面)



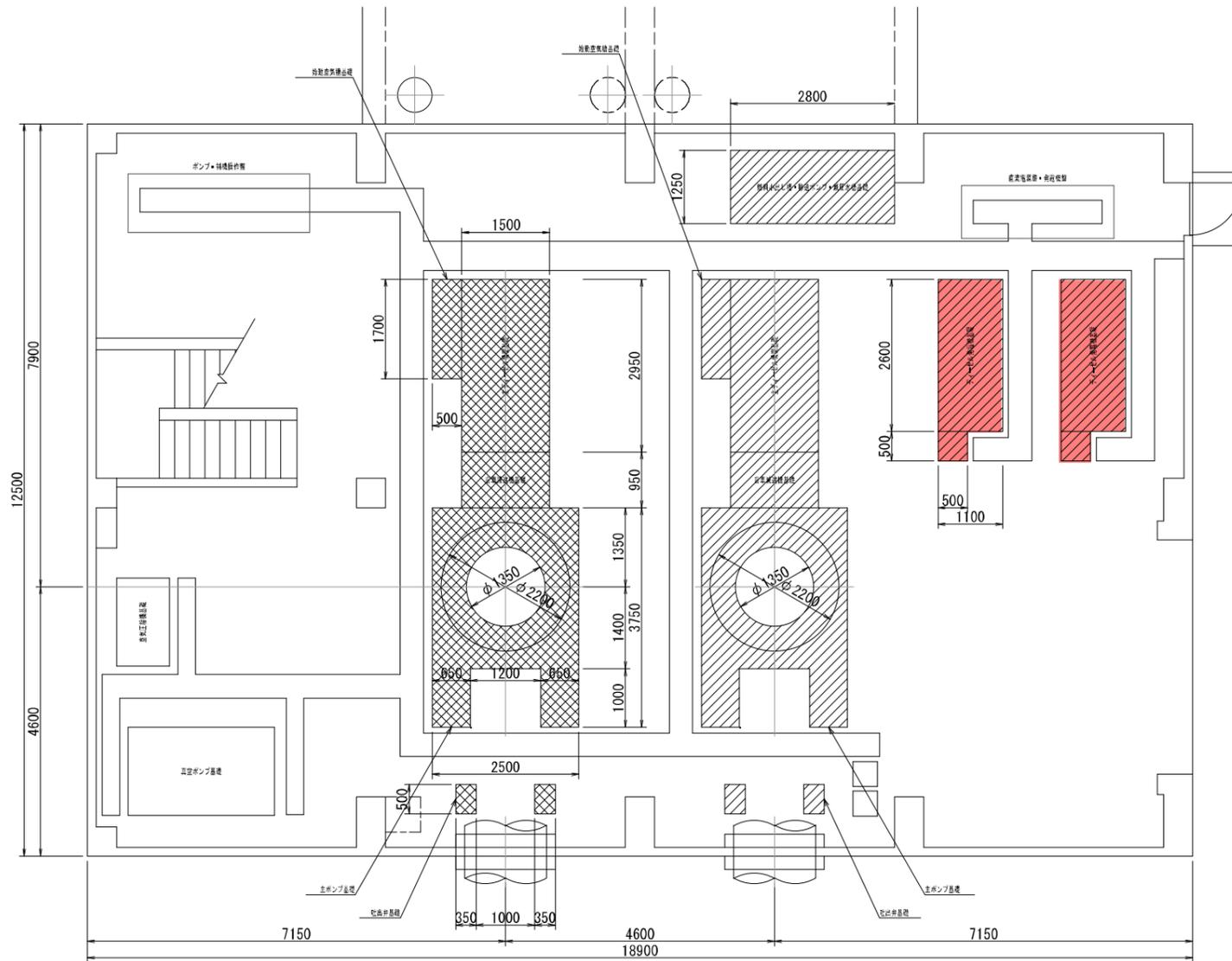
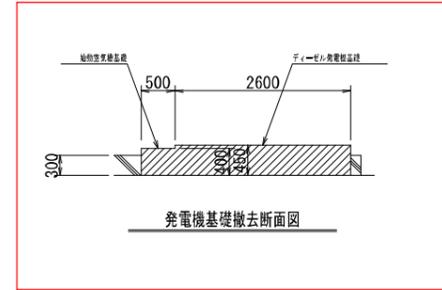
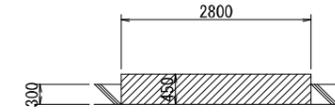
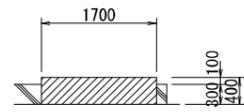
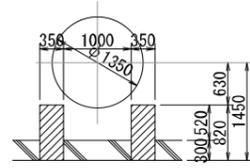
注1) 図のハッチングは、今回撤去対象機器を示す。

注2) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注3) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	機器撤去断面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:50	図面番号	13 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(所)名	北陸地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
既設基礎撤去図 S=1:50

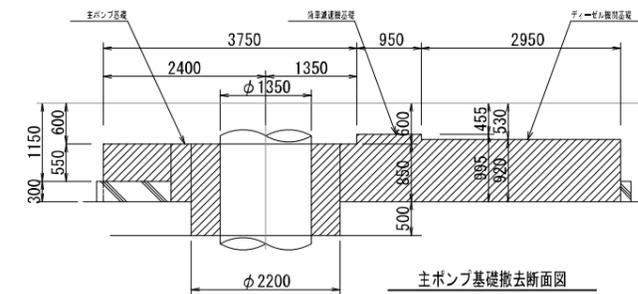


1次撤去数量

① 主ポンプ基礎撤去	$(2,500 \times 2,750 - 1,000 \times 1,200) \times \pi/4 \times 1,350^2 \times 0,850 =$	3,607
② 主ポンプ基礎撤去	$\pi/4 \times (2,200^2 - 1,350^2) \times 0,500 =$	1,185
③ 吐出弁基礎撤去	$2 \times 0,175 \times 0,500 \times 0,870 =$	0,152
④ 減速機基礎撤去	$0,950 \times 1,500 \times 0,995 =$	1,418
⑤ 主原動機基礎撤去	$2,950 \times 1,500 \times 0,920 =$	4,071
⑥ 始動空気槽基礎撤去	$0,500 \times 1,700 \times 0,400 =$	0,340
⑦ 燃料小出し槽基礎撤去	$1,250 \times 2,800 \times 0,450 =$	1,575
⑧ 発電機基礎撤去	$2 \times 1,100 \times 2,600 \times 0,450 =$	2,574
⑨ 空気槽基礎撤去	$2 \times 0,500 \times 0,500 \times 0,400 =$	0,200
		計 15,122 m ³

2次撤去数量

① 主ポンプ基礎撤去	$(2,500 \times 2,750 - 1,000 \times 1,200) \times \pi/4 \times 1,350^2 \times 0,850 =$	3,607
② 主ポンプ基礎撤去	$\pi/4 \times (2,200^2 - 1,350^2) \times 0,500 =$	1,185
③ 吐出弁基礎撤去	$2 \times 0,175 \times 0,500 \times 0,870 =$	0,152
④ 減速機基礎撤去	$0,950 \times 1,500 \times 0,995 =$	1,418
⑤ 主原動機基礎撤去	$2,950 \times 1,500 \times 0,920 =$	4,071
⑥ 始動空気槽基礎撤去	$0,500 \times 1,700 \times 0,400 =$	0,340
⑦ 燃料小出し槽基礎撤去	-	-
⑧ 発電機基礎撤去	-	-
⑨ 空気槽基礎撤去	-	-
		計 10,773 m ³



☒ は2次撤去、その他は1次撤去

注1. 撤去対象は、図のハッチング部に示す基礎等の基礎とする。
注2. 地下埋設タンク等は、すべて撤去とする。

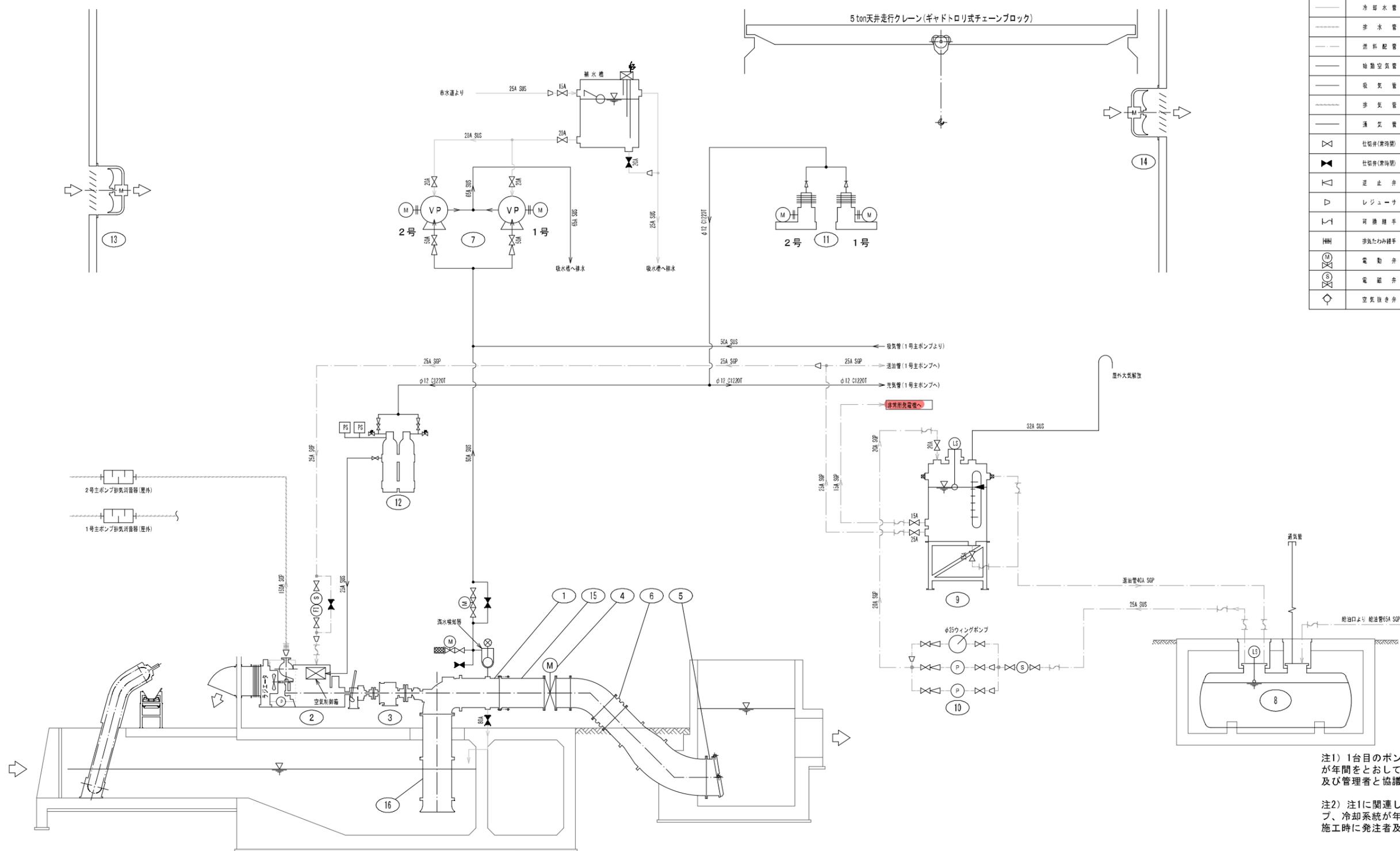
注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。
注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	既設基礎撤去図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:50	図面番号	14 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(所)名	北陸地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区 更新機器フローシート

凡例

記号	名称	記号	名称
—	冷却水管	△	安全弁
---	排水管	P	増設ポンプ機
---	燃料配管	M	電動機一取
---	給油空気管	PS	Eカススイッチ
---	吸気管	○	Eカ計
---	排気管	T	温度計
---	通気管	FM	流量計
△	仕切弁(常時閉)	FI	燃料噴霧計
▶	仕切弁(常時開)	S	ストレーナ
▽	逆止弁	LS	レベルスイッチ
▽	レギュレータ	○	フロートスイッチ
▽	可換継手	△	フート弁
■	挿入たわみ継手	○	ボールタップ
⊕	電動弁	△	電極式水位計
⊖	電磁弁	△	防火ダンパ
◇	空気抜き弁		



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるように施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1)に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

更新機器一覧

機番	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
機番名称	主ポンプ	主電動機	歯車減速機	吐出弁	逆流防止弁	可換管	真空ポンプ	屋外燃料貯油槽	燃料小出し槽	燃料移送ポンプ	空気圧検知器	給油空気機	給油ファン	排気ファン	主配管
形式	機軸輸送ポンプ	ディーゼル機関	逆置歯車減速機	電気検知弁	フラップ弁	鋼Fゴム可換管	水柱式真空ポンプ	地下埋2層貯油タンク	鋼板製丸形燃料タンク	容量ポンプ	2段空冷圧縮機	鋼板製高圧空気機	螺旋形有圧蓋	螺旋形有圧蓋	ダクト用鋼鉄管
仕様	φ1,350mm×240mm ³ / _{min} ×2,60mm×200mm ¹	160kW×1,500min ¹ ラジエータ式	200mm ¹ /1,500min ¹ ×160kW	φ1,350mm×L400mm	φ1,650mm×4枚弁丸形	φ1350mm×L700mm	φ100mm×最大6.0m ³ / _{min} ×最高38kPa	貯油容量8,000L	貯油容量190L	φ20mm×35L/min×0.3MPa	12.9m ³ /h×2.34MPa	100L×3,14MPa×2連	300m ³ /min×60Pa	300m ³ /min×60Pa	φ1,350mm
電動機出力	-	初期機容量P0,75kW	初期機容量P0,75kW	1.5kW	-	-	15kW	-	-	0.4kW	2.7kW	-	1.5kW	1.5kW	-
数量	全体 2 今回 2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	4	2	2	2
備考		減心クラッチ、消音器 規格 1m64dB (A)以下	給油ユニット付			1型A領域用	2台中1台予備 補水器1基を含む	第3石油類(A重油)	第3石油類(A重油) 鋼製架台付	2台中1台予備 φ25mmウィングP付	2台中1台予備	2台中1台予備 ドレン分離機付	規格 1m64dB (A)以下	規格 1m64dB (A)以下	緩急管、逆動F短管

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
図面名	更新機器フローシート
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	— 図面番号 15 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント
事業(務)所名	北陸地域振興局 農林水産部 農村整備課

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区 2号ポンプ設置後更新機器フローシート(1号ポンプ対象) (参考図面)

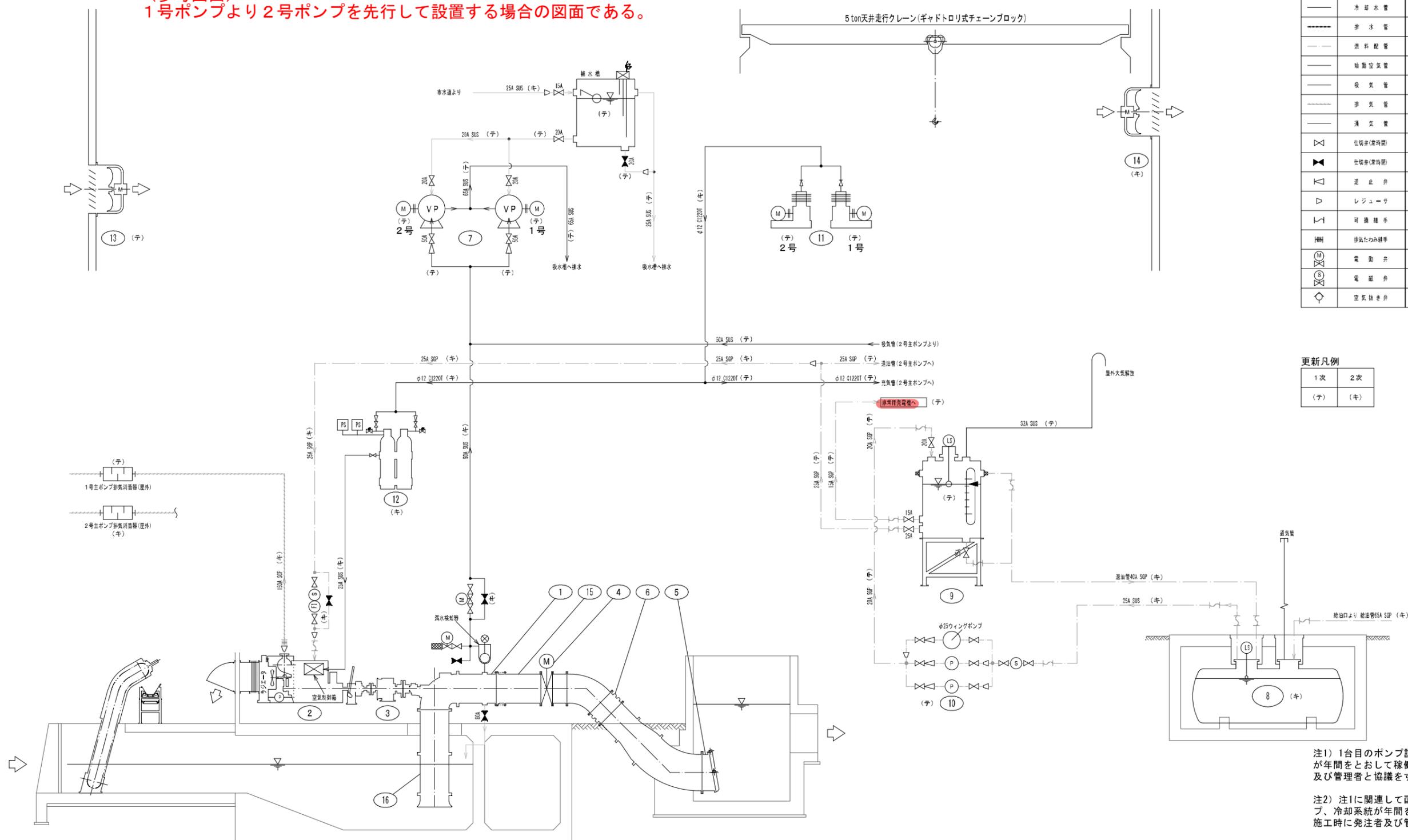
(参考図面)
1号ポンプより2号ポンプを先行して設置する場合の図面である。

凡例

記号	名称	記号	名称
—	冷却水管	⊗	安全弁
---	排水管	P	増設ポンプ機
---	燃料配管	M	電動機一取
---	給油空気管	PS	Eカススイッチ
---	吸気管	⊙	Eカシ
---	排気管	T	温度計
---	通気管	FM	流量計
⊗	仕切弁(常時閉)	FI	燃料噴霧計
⊗	仕切弁(常時開)	S	ストレナ
⊗	逆止弁	LS	レベルスイッチ
▽	レギュレータ	⊗	フロートスイッチ
⊗	可換継手	△	フート弁
⊗	挿入たわみ継手	⊗	ボールタップ
⊗	電動弁	⊗	電圧式水位計
⊗	電磁弁	⊗	防火ダンパ
⊗	空気抜き弁		

更新凡例

1次	2次
(キ)	(キ)



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるように施工時に発注者及び管理者と協議をすること。
注2) 注1)に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

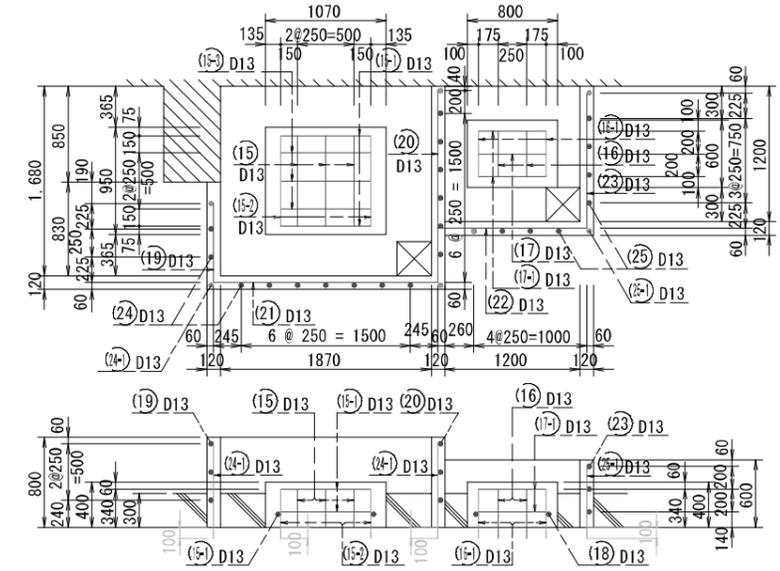
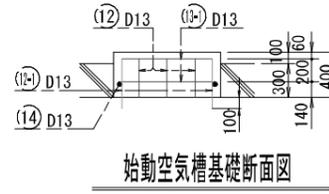
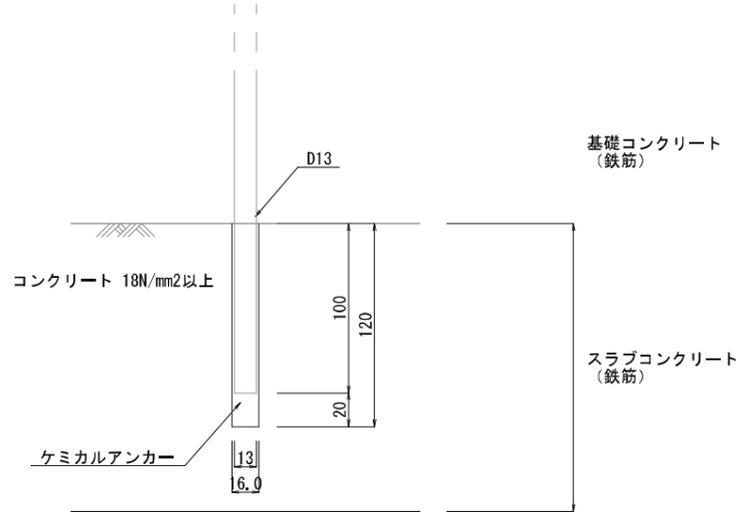
更新機器一覧

更新機器	(キ)	(キ)	(キ)	(キ)	(キ)	(キ)	(キ)	(キ)	(キ)	(キ)	(キ)	1号 (キ)	2号 (キ)	(キ)	(キ)	(キ)
機 器 名 称	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
形 式	主ポンプ	主電動機	給油減速機	吐出弁	逆流防止弁	可換管	真空ポンプ	屋外燃料貯油槽	燃料小出し槽	燃料移送ポンプ	空気圧縮機	給油空気機	給油ファン	排気ファン	主配管	
仕 様	φ1,350mm×240mm ³ / _{min} ×2,60mm×200mm ¹	1E0kW×1,500min ¹ ラジエータ式	200mm ¹ /1,500min ¹ ×160kW	φ1,350mm×L400mm	φ1,650mm×4枚弁A形	φ1350mm×L700mm	φ100mm×最大6.0m ³ / _{min} ×最高38kPa	貯油容量8,000L	貯油容量190L	φ20mm×35L/min×0.3MPa	12.9m ³ /h×2.34MPa	100L×3,14MPa×2連	300m ³ /min×60Pa	300m ³ /min×60Pa	φ1,350mm	
電 動 機 出 力	-	初期選定値P0,75kW	初期選定値P0,75kW	1.5kW	-	-	15kW	-	-	0.4kW	2.7kW	-	1.5kW	1.5kW	-	-
数 量	全体 2 今回 2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	4	6	2	2	2
備 考		減心クラッチ、消音器 規格 1m64dB (A)以下	給油ユニット付			1型A領域用	2台中1台予備 補水器1基を含む	第3石油類(A重油)	第3石油類(A重油) 鋼製架台付	2台中1台予備 φ25mmウイングP付	2台中1台予備	2途中1途中備 ドレン分離機付	機軸 1m64dB (A)以下	機軸 1m64dB (A)以下	縦込管、逆動F短管	

工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
図 面 名	2号ポンプ設置後更新機器フローシート(1号ポンプ対象)
作 成 年 月 日	令和 年 月 日
縮 尺	— 図面番号 16 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント
事 業 (種) 所 名	北陸地域振興局 農林水産部 農村整備課

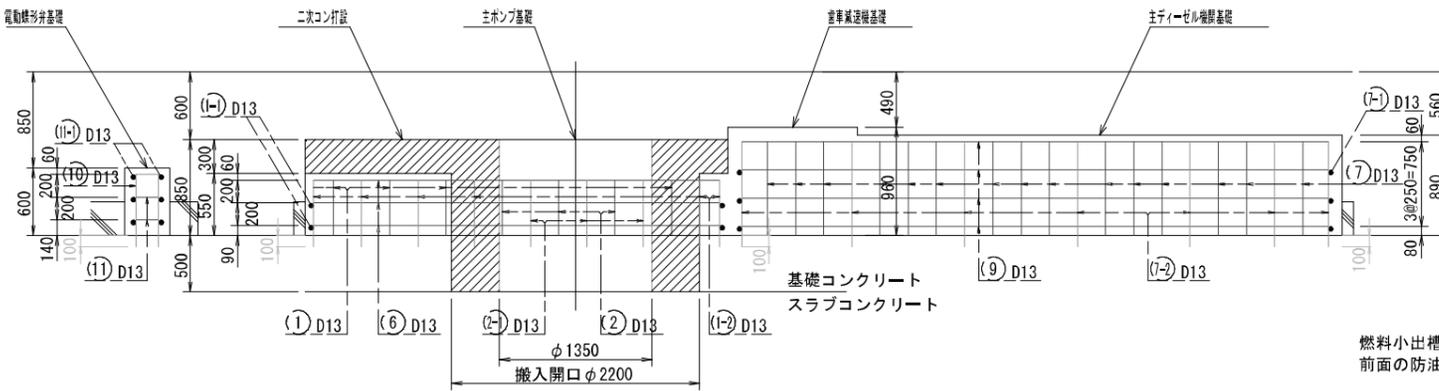
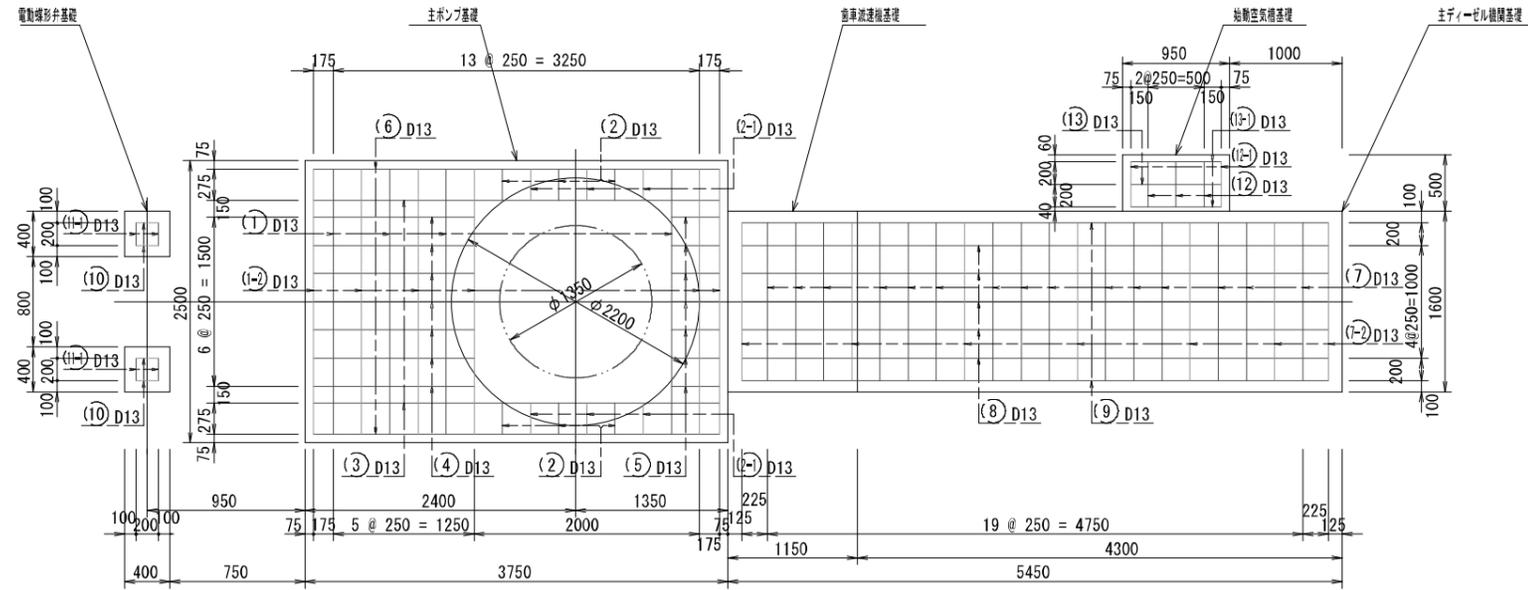
農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
更新基礎図・配筋図(1) S=1:30

固定鉄筋標準図 S=1:2

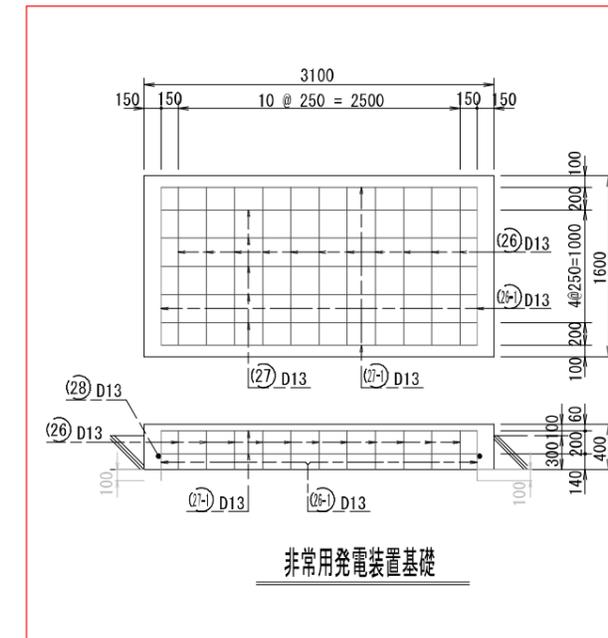


燃料小出し槽・燃料移送ポンプ基礎

設置前に設置する燃料小出し槽に対する寸法で消火器と事前に協議する事。



電動蝶形弁・主ポンプ・歯車減速機・主ディーゼル機関・始動空気槽基礎



非常用発電装置基礎

注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議すること。
注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議すること。

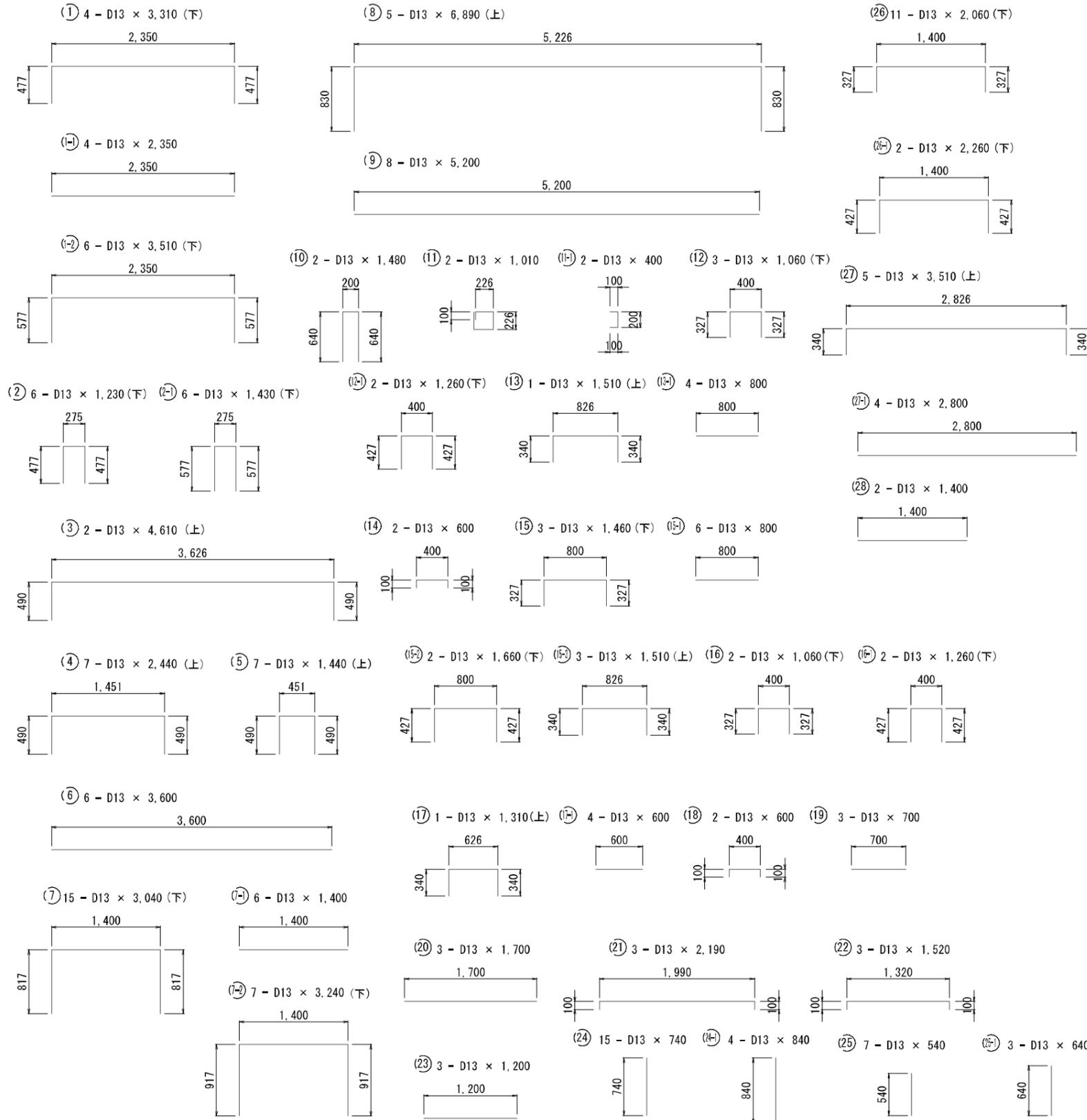
燃料小出し槽から背面の壁まで500mm以上
前面の防油堤まで500mm以上とする。

注) 1. 使用する鉄筋は、すべてSD-45-D13とする。
2. 主ポンプ基礎ハッチング部は、ポンプ引付後に施工する二次コンクリートを示す。
3. 機械基礎配筋については、設置する機械の寸法に合わせた標準寸法に対しての配筋図を添付図として提出する事。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	更新基礎図・配筋図(1)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:30	図面番号	18 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(所)名	北陸地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
更新基礎図・配筋図(2) S=1:30

鉄筋加工図



種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	換算
		mm		kg/m	kg/m	kg	
1	D13	3,310	4	0.995	3,293	13,172	□
1-1	D13	2,350	4	0.995	2,338	9,352	—
1-2	D13	3,510	6	0.995	3,492	20,952	□
2	D13	1,230	6	0.995	1,224	7,344	□
2-1	D13	1,430	6	0.995	1,423	8,538	□
3	D13	4,610	2	0.995	4,587	9,174	□
4	D13	2,440	7	0.995	2,428	16,996	□
5	D13	1,440	7	0.995	1,433	10,031	□
6	D13	3,600	6	0.995	3,582	21,492	—
小計 = 117,051 kg							
主ポンプ基礎 117,051 kg × 2ヶ所 = 234,102 kg							
7	D13	3,040	15	0.995	3,025	45,375	□
7-1	D13	1,400	6	0.995	1,393	8,358	—
7-2	D13	3,240	7	0.995	3,224	22,568	□
8	D13	6,890	5	0.995	6,856	34,280	□
9	D13	5,200	8	0.995	5,174	41,392	—
小計 = 151,973 kg							
減速機・主原動機基礎 151,973 kg × 2ヶ所 = 303,946 kg							
10	D13	1,480	2	0.995	1,473	2,946	□
11	D13	1,010	2	0.995	1,005	2,010	□
11-1	D13	400	2	0.995	0,398	0,796	□
小計 = 5,752 kg							
電動機形弁基礎 5,752 kg × 4ヶ所 = 23,008 kg							
12	D13	1,060	3	0.995	1,055	3,165	□
12-1	D13	1,260	2	0.995	1,254	2,508	□
13	D13	1,510	1	0.995	1,502	1,502	□
13-1	D13	800	4	0.995	0,796	3,184	—
14	D13	600	2	0.995	0,597	1,194	□
小計 = 11,553 kg							
始動空気帯基礎 11,553 kg × 2ヶ所 = 23,106 kg							
15	D13	1,460	3	0.995	1,453	4,359	□
15-1	D13	800	6	0.995	0,796	4,776	—
15-2	D13	1,660	2	0.995	1,652	3,304	□
15-3	D13	1,510	3	0.995	1,502	4,506	□
16	D13	1,060	2	0.995	1,055	2,110	□
16-1	D13	1,260	2	0.995	1,254	2,508	□
17	D13	1,310	1	0.995	1,303	1,303	□
17-1	D13	600	4	0.995	0,597	2,388	—
18	D13	600	2	0.995	0,597	1,194	□
小計 = 26,448 kg							
燃料小出し槽・移送ポンプ基礎 26,448 kg × 1ヶ所 = 26,448 kg							
19	D13	700	3	0.995	0,697	2,091	—
20	D13	1,700	3	0.995	1,692	5,076	—
21	D13	2,190	3	0.995	2,179	6,537	□
22	D13	1,520	3	0.995	1,512	4,536	□
23	D13	1,200	3	0.995	1,194	3,582	—
24	D13	740	15	0.995	0,736	11,040	—
24-1	D13	840	4	0.995	0,836	3,344	—
25	D13	540	7	0.995	0,537	3,759	—
25-1	D13	640	3	0.995	0,637	1,911	—
小計 = 41,876 kg							
燃料小出し槽防油堤 41,876 kg × 1ヶ所 = 41,876 kg							
26	D13	2,060	11	0.995	2,050	22,550	□
26-1	D13	2,260	2	0.995	2,249	4,498	□
27	D13	3,510	5	0.995	3,492	17,460	□
27-1	D13	2,800	4	0.995	2,786	11,144	—
28	D13	1,400	2	0.995	1,393	2,786	—
小計 = 58,438 kg							
非常用発電装置基礎 58,438 kg × 1ヶ所 = 58,438 kg							
SD345 D13 = 710,924 kg							
合計 = 710,924 kg							

注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。
注2) 注1)に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

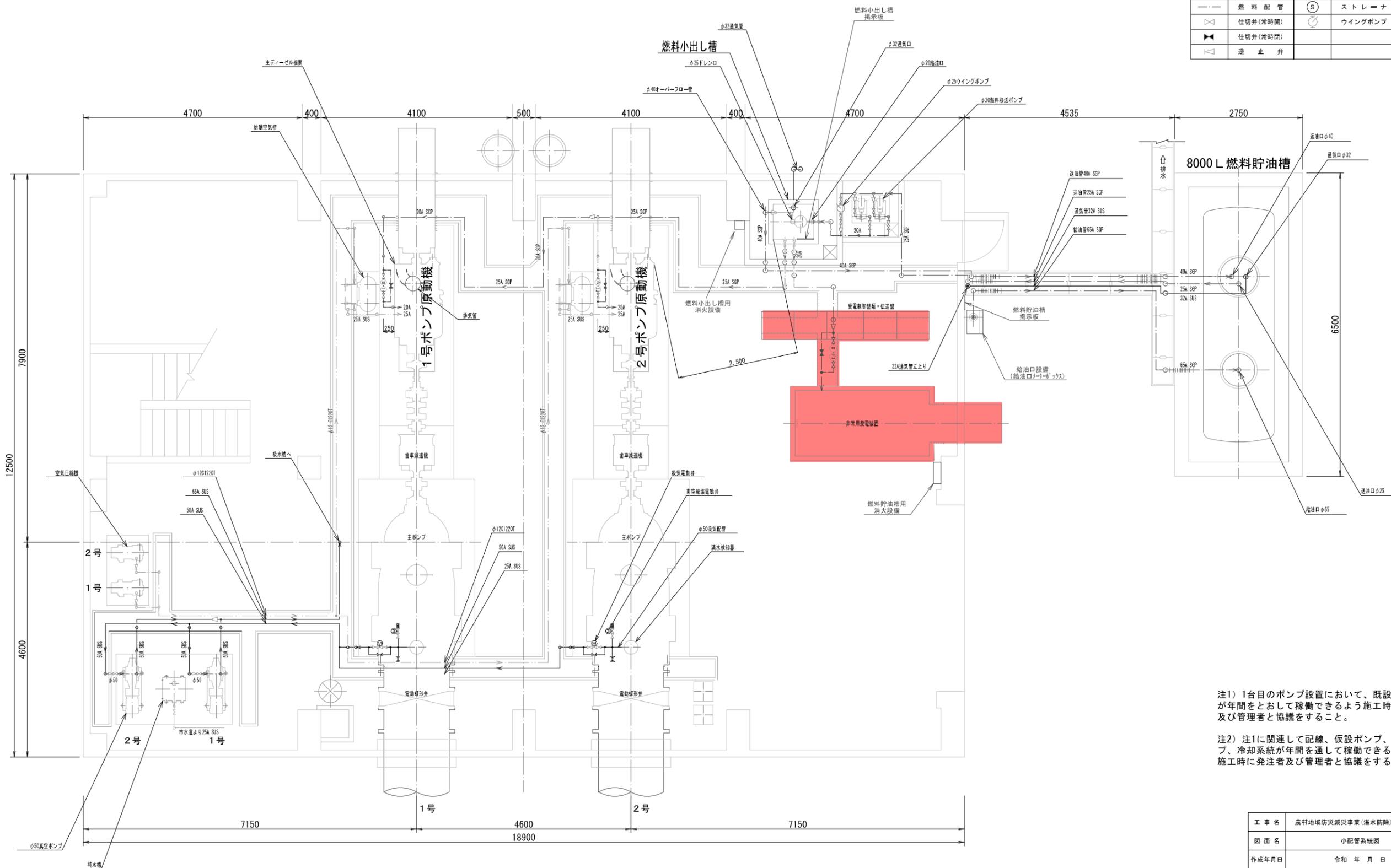
工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
図面名	更新基礎図・配筋図(2)
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	S=1:30 図面番号 19 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント
事業(種)所名	北陸地域振興局 農林水産部 農村整備課

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区

小配管系統図 S=1:40

凡例

記号	名称	記号	名称
—	排水配管		可換継手
—	排気配管	▷	レギュレーサ
—	通気配管	(F1)	流量表示計
—	燃料配管	(S)	ストレーナ
⊗	仕切弁(常時閉)	⊙	ウイングポンプ
⊚	仕切弁(常時開)		
⊚	逆止弁		



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1)に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

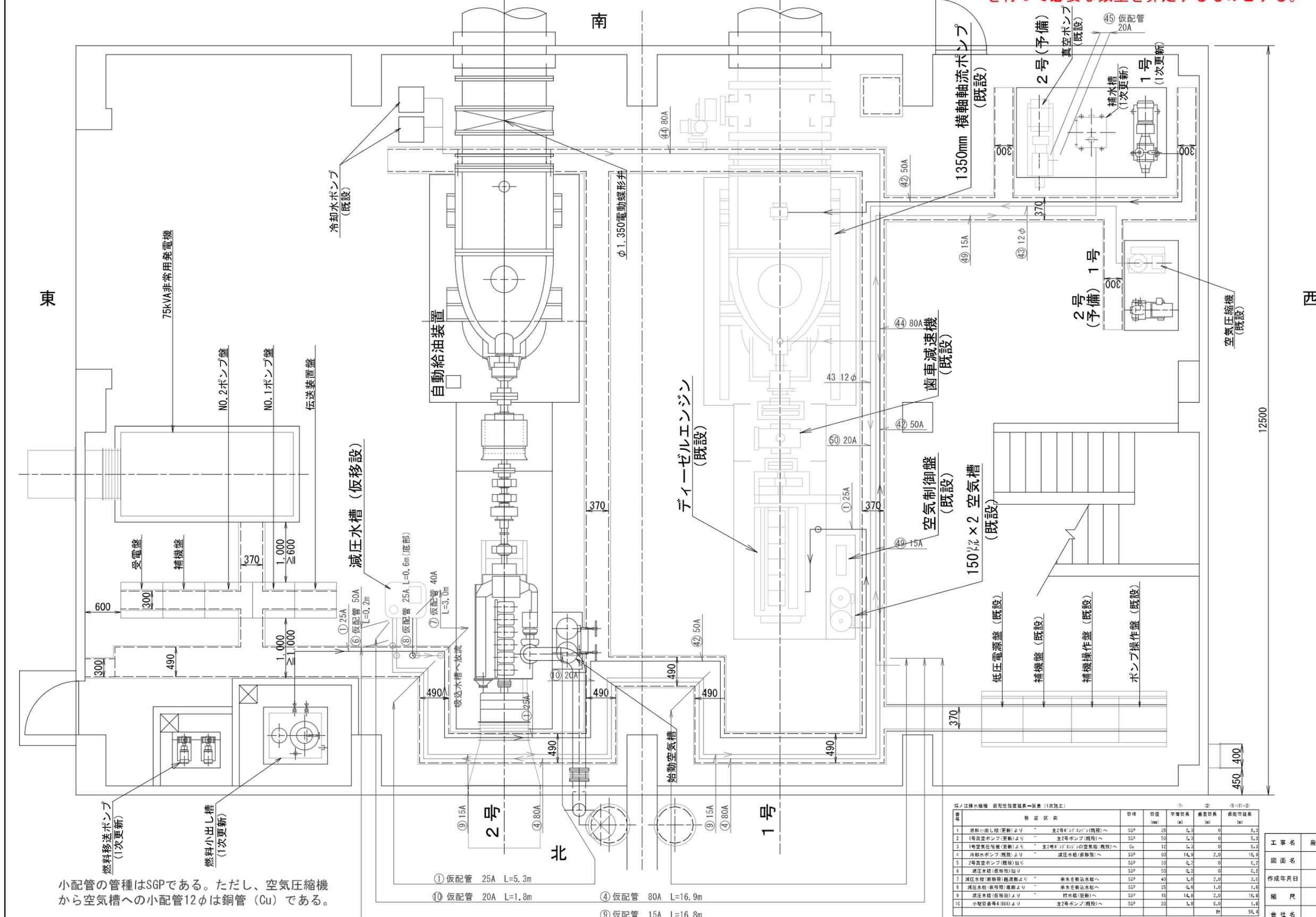
工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	小配管系統図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:40	図面番号	21 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(所)名	北陸地域振興局 農林水産部 農村整備課		

注) 1. 小配管は、既設全量去換更新するものとする。
2. 燃料貯油槽、燃料小出し槽通気管は、地上4m以上で大気開放のこと。

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区

2号ポンプ設置後小配管系統図 S=1:30 (参考図面)

1号ポンプより2号ポンプを先行して設置する場合の図面であり、実際は、ポンプ設置業者と詳細な工程打ち合わせをした後、調査を行って必要な数量を算定するものとする。



小配管の管種はSGPである。ただし、空気圧縮機から空気槽への小配管12φは銅管 (Cu) である。

配管については、現状の配管と当初設計に差異が生じている恐れがあり、配管の撤去および仮配線については、再度調査を行った上で施工を行うこと。

順	設 置 区 間	管 種	管 径 (mm)	管 長 (m)	①	②	③-④-⑤
1	燃料小出し槽(更新)より 主2号ポンプエンジン(既設)へ	SGP	25	5.3	0	0	5.3
2	1号真空ポンプ(更新)より 主2号ポンプ(既設)へ	SGP	50	5.3	0	0	5.3
3	1号真空ポンプ(更新)より 主2号ポンプ(既設)の真空槽(既設)へ	Cu	12	5.3	0	0	5.3
4	冷却水ポンプ(既設)より 減圧水槽(仮移設)へ	SGP	80	14.9	2.0	0	16.9
5	2号真空ポンプ(既設)より 減圧水槽(仮移設)へ	SGP	20	0.2	0	0	0.2
6	減圧水槽(仮移設)より 減圧水槽(仮移設)へ	SGP	50	0.2	0	0	0.2
7	減圧水槽(仮移設)給油部より 余水巻込水槽へ	SGP	40	1.0	2.0	0	3.0
8	減圧水槽(仮移設)給油部より 余水巻込水槽へ	SGP	25	0.6	1.0	0	1.6
9	減圧水槽(仮移設)より 貯水槽(既設)へ	SGP	15	14.8	2.0	0	16.8
10	小配管番号4(80A)より 主2号ポンプ(既設)へ	SGP	20	1.8	0.0	0	1.8
				計	56.4		56.4

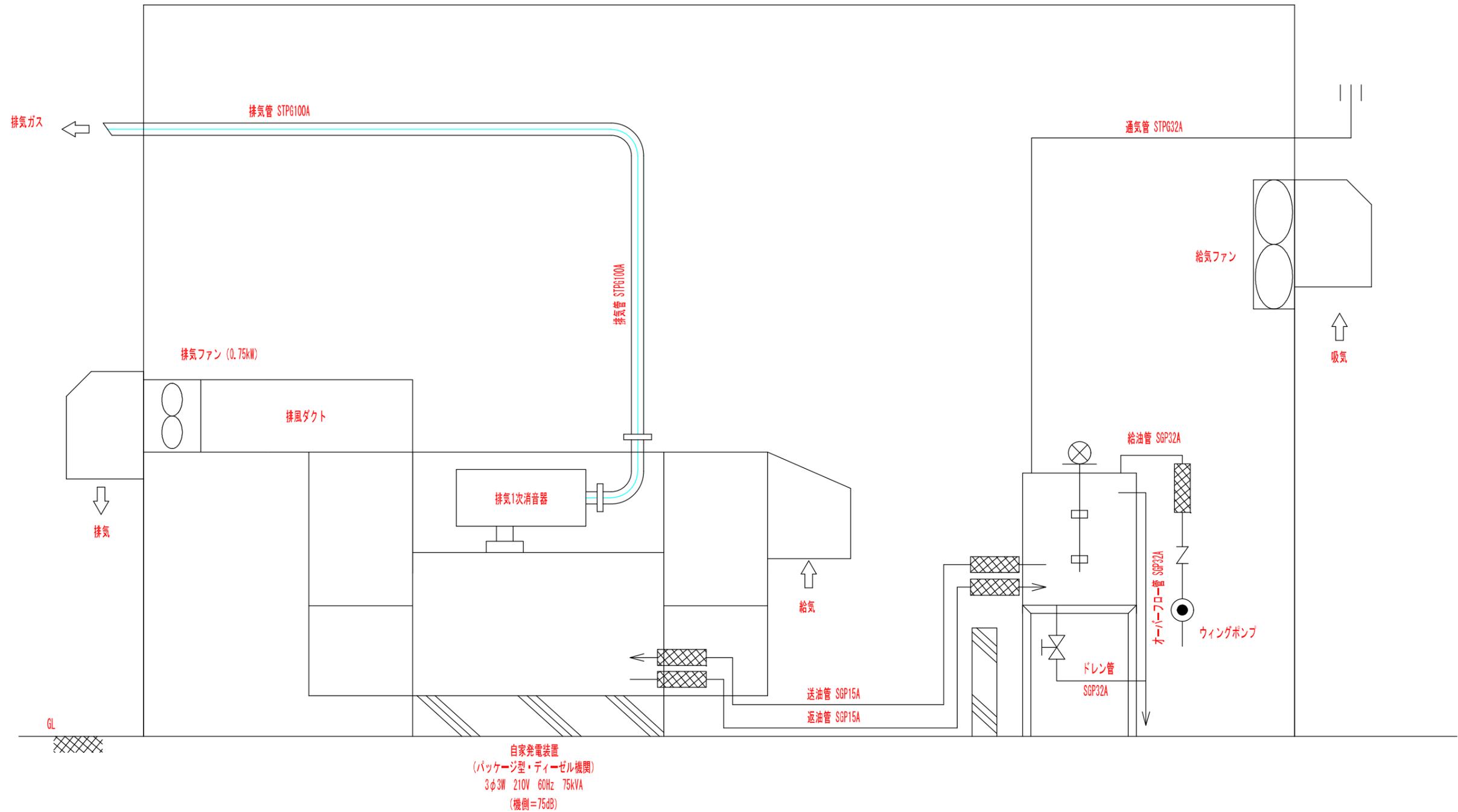
注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1)に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間をとおして稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図 面 名	2号ポンプ設置後小配管系統図		
作 成 年 月 日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:30	図 面 番 号	22 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事 業 (所) 名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
 自家発電設備配管フローシート
 (参考図)

(参考図面)
 据付位置を詳細測量により決定した後、屋外排気等にあわせて、配線や機器の寸法を定め製作するものとする。



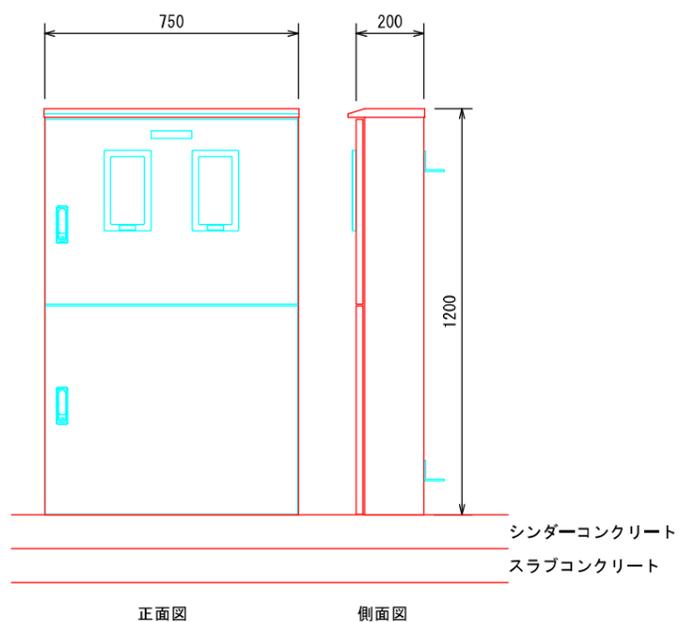
※ 非常時しか使用しないため、長寿命化目的で消音器は屋内とする。

注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。
 注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	自家発電設備配管フローシート		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	-	図面番号	24 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(所)名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

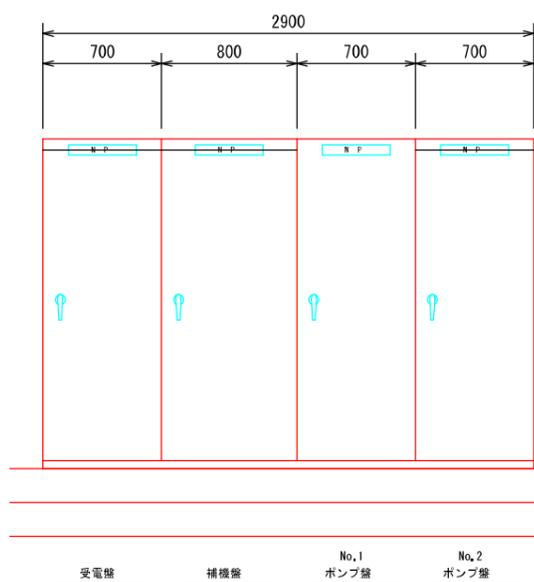
農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
盤姿図

アンカー数 4本



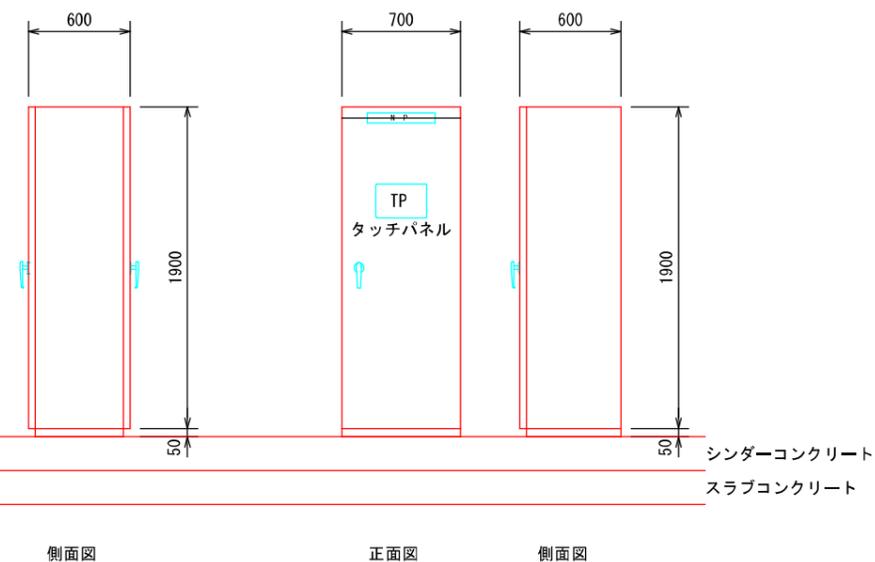
引込開閉器盤 S=1:10
(SUS製屋外装柱形)屋外設置

アンカー数 4本×4面



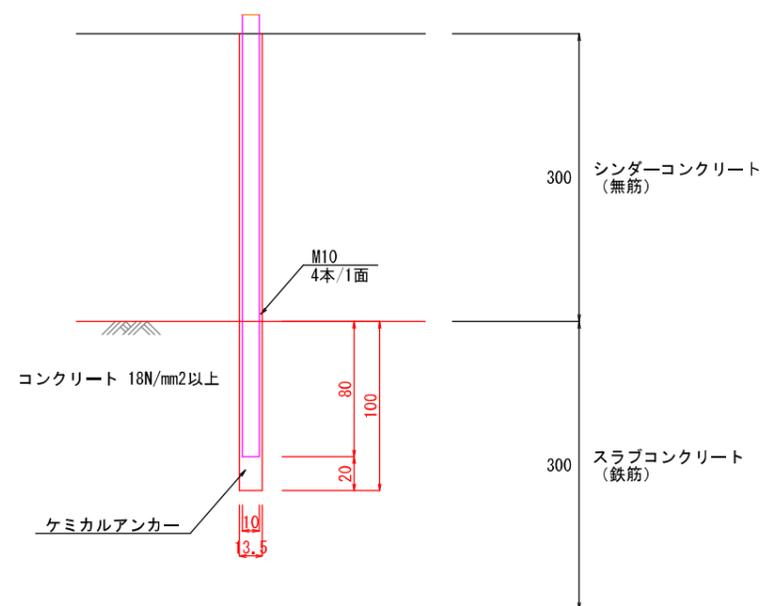
受電盤 補機盤 No.1ポンプ盤 No.2ポンプ盤
電気設備盤 S=1:20
(SS製屋内自立形)

アンカー数 4本



伝送装置盤 S=1:20
(SS製屋内自立形)

盤固定アンカー標準図 S=1:2



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	盤姿図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図示	図面番号	26 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		